

行政改革推進会議のあり方について

前回の行政改革推進会議（平成 29 年 2 月 28 日開催）の際に、委員より「行政改革推進会議が設置されて約 10 年が経過したこともあり、会議のあり方を見直す時期にきているのではないか」とのご提案をいただいた。

この他、「行政改革推進会議の役割が不明瞭」または「委員の意見がどのように反映されたかが分かりにくい」などのご指摘もいただいた。

以上のようなご意見を踏まえ、行政改革推進会議委員の次回の任期更新時（平成 30 年 7 月）に合わせて、次のとおり会議のあり方を見直すこととしたい。

1 役割の明確化

行政改革推進会議は、平成 17 年度に策定した唐津市行政改革大綱及び実施計画の取組状況に関し意見を求め、改善を図っていくための組織として設置されたものであるが、平成 26 年度をもって行政改革大綱の計画期間が終了したことに伴い、これに代わる新たな行政改革の実行計画として、行政改革推進会議委員の意見を求めながら、平成 28 年 4 月に「唐津市行政マネジメントアクションプラン」を策定した。

今後、このアクションプランに基づき、行政事務や行政サービス等の改革を推進し、継続的改善を図っていくためには、行政内部だけでなく、外部有識者の視点から取組状況に関する意見を求め、必要に応じて見直しを行っていかねばならない。

このため、次回の任期更新時に合わせて、行政改革推進会議の役割を明確にするため、次のとおり設置要綱に定める目的を見直すこととする。

<現行> ※唐津市行政改革推進会議設置要綱

第 1 条 社会経済情勢の変化に対応し、本市の行財政運営の健全化、効率化その他の行政改革の推進に関し意見を求めるため、唐津市行政改革推進会議を置く。



<見直し案>

第 1 条 複雑多様化する行政需要に対応し、行政事務及び行政サービスのより一層の改革推進を目的に策定した唐津市行政マネジメントアクションプランの推進及び取組状況に関し意見を求めるため、唐津市行政改革推進会議を置く。

2 意見の反映

これまでの行政改革推進会議では、行政マネジメントアクションプランの取組状況や行政評価に関して、さらなる改善のための意見・提案をいただいております。会議の結果については、企画政策課を含め各担当課とも共有し、意見を踏まえた改善を図っていくこととしていたが、その後のフォローアップが不十分であったことから、検討状況が見えないという課題があった。

このため、行政改革推進会議の意見・提案については、各担当課で共有するほか、その後の検討状況を定期的に確認し、企画政策課でとりまとめ、行政改革推進会議において報告を行うなどして、委員の意見を反映できる仕組みに改めることとする。